

令和7年度使用飛騨地区中学校用教科用図書採択理由書

(飛騨市教育委員会)

教科	種目	発行者	採 択 理 由
国語	国語	光村図書	□教材を通して身につけさせたい資質・能力を「学びのカギ」として位置付けている。各領域における教材の種類が非常に豊富であり、資質・能力の3つの柱をバランスよく育めるようによく工夫された構成になっている。また、「語彙ブック」や、「言の葉ポケット」を活用することで、生徒が主体的に新たな言葉を獲得しながら思考力・表現力を高められるように、よく工夫されている。 □「読むこと」領域の単元の終末には、それまでの学習内容をもとに幅広い観点で学びをまとめられるような、よく工夫された言語活動が設定されている。また、「学びへの扉」で学習活動が明確に位置付けられていることで、終末の言語活動とのつながりが明らかとなり、一単位時間ずつ学びが深まっていくことが実感できる、よく工夫された構成になっている。 □学習の流れを載せた「学びへの扉」が、視覚的に分かりやすくまとめられており、学習状況を自分で評価しつつ、学びを調整しながら学習改善できるように、よく工夫されている。また、巻頭の「学習の見通しをもとう」により、重点的に学習する評価の観点が一目で分かる。さらに、「振り返る」の枠の中を、「知る」「読む」「つなぐ」の3つの観点に分け具体的に記すことで、より細かい視点で評価できるようよく工夫されている。
	書写	光村図書	□各題材で「学びのカギ」が設定されていることで、学習のポイントを押さえ、資質・能力が育成されるよう、よく工夫されている。また、「コラム」を位置付けることで、主体的に文字文化への関心や実生活につなげる意識を高められるよう、配慮されている。 □学んだ内容を生かして日本の伝統的な文章を美しく書いたりポスター作製に発展させたりするなど、他教科の学習や日常生活と関連付けている。また、「職業ガイドを作ろう」「防災フェスタを開こう」の題材を通じて、自己の将来や社会への関心につなげられるよう、よく工夫されている。 □どの題材にも2次元コードが掲載され、教科書全体として60か所あり、視覚的な理解を補完するよう、よく工夫されている。
社会	地理	東京書籍	□単元末のまとめが「確かめよう(知識・技能)」、「見方・考え方を働かせて探究課題に答えよう(思考・判断・表現)」、「探究のステップで振り返ろう(主体的に学習に取り組む態度)」の3観点で整理されており、観点到応じた学習内容の定着が見取りやすいようよく工夫された内容となっている。 □持続可能な社会の形成を自分ごととして意識できるよう、現代的な課題を「環境・エネルギー」、「人権・平和」、「伝統文化」、「防災・安全」、「情報・技術」といった視点でまとめてあり、学習を通して常に意識できるようよく工夫された内容となっている。 □単位時間には「チェック&トライ」として自分の生活と関連できる内容が示され、単元終末には「まとめの活動」が3観点で整理されており、観点到応じた考察できるようよく工夫された内容となっている。
	歴史	東京書籍	□「スキルアップ」のコーナーが設けられ、歴史の学習に必要な技能を確実に定着させ、資料活用能力とともに、確実な知識の定着を図ることができるようよく工夫されている。 □各ページに位置づいている「TRY」時代を捉えるために「時期」「比較」「現在」等の視点を示し、共通点や変化に着目して思考させる手立てがよく工夫されている。 □単元を通して課題を「つかむ」「追究する」「解決する」と設定し、単位時間ごとに「学習課題」があることから、課題解決が図られるようよく工夫された構成になっている。

	公民	東京書籍	□資料の読み取り方など、基礎的・基本的な技能を身に付けられるようよく工夫された内容になっている。また、単元で働かせる見方・考え方をマークで示し、視覚的に捉えられるようよく配慮されている。 □単元の導入で「探求課題」を設定し、「追究」「解決」と課題解決学習を進められるなど、よく工夫された構成になっている。また、各章のまとめに「みんなでチャレンジ」を位置づけ、グループで話し合う活動をするなど、協働的な学びができるようよく工夫されている。
	地図	帝国書院	□持続可能な社会について考察ができるようにするため、SDGsの視点から地図資料を読み取る視点が示され、生徒の社会的な見方・考え方を身につくようよく工夫された内容となっている。 □「この地図帳の使い方」のページでは、小学校の学びを確認することができ、小学校の学習を発展・深化させる「地図で発見」が設置され、地図帳の使い方・地理的な見方・考え方が身に付くようよく工夫された内容となっている。 □主体的・対話的な学習を促す「地図で発見！」が要所に配置され、「地理的な見方・考え方を働かせる中で、「思考力・判断力・表現力」の育成につながるようよく工夫された構成となっている。
数学	数学	東京書籍	□「基礎的・基本的な知識及び技能」の習得という点において、各ページに二次元コードが位置付けられ、単位時間ごとに補充の問題やフラッシュカード式の問題に取り組むことができるように工夫されている。また、例題に沿った問題と応用問題がバランスよく配置されており、生徒がスモールステップで力をつけていくことができるように配慮されている。 □「論理的、統合的・発展的に考察する力、簡潔・明瞭・的確に表現する力」の育成という点において、「大切にしたい数学の学び方」に沿った視点で問題解決の過程を記載しており、まずは「自分の考え」をもった上で「他者の考え」を知り、比較ができるようによく配慮された構成となっている。また、「数学のまど」に章で学習した内容を活用して解くことができる発展的な問題が位置付けられている。 □「粘り強く考え、自ら学習を調整しながら課題解決に向かう生徒」の育成という点において、二次元コードのリンク先には解答だけでなく、ヒントや解決の過程を見られるようになっており、生徒が個の実態に合わせて活用できるようになっている。また、「数学の目でふり返ろう」では、各学年で問題を解決するときに使った考え方の共通点がまとめられており、自分で学び直しながら取り組むことができるよう、よく工夫されている。
理科	理科	東京書籍	□探究活動の過程を統一されたアイコンで示し、探究の過程と身に付けたい資質・能力が明確になるよう、よく工夫されている。特に、各単元に「流れに沿ってじっくり探究」が一つずつ位置付けられており、理科の見方や考え方を働かせながらじっくり探究できるよう配慮されている。また、探究の過程を振り返ったり、観察、実験の結果を分析・解釈したりする方法について、対話形式のイラストで丁寧に記載されており、主体的・対話的で深い学びの実現につながる学び方の指導ができるよう、よく工夫されている。さらに、探究の過程において、「理科の見方・考え方を働かせる必要性の高い場面には、それらがファシリテーターキャラクターとともに具体的に示されており、意識的に「理科の見方・考え方を働かせられるようよく工夫されている。 □単元の中で「探究をふり返ろう」という振り返りの場が複数箇所、意図的に位置付けられており、探究の過程の妥当性を振り返る力が育まれるよう、よく工夫されている。また、各単元や各章の学習前後に「Before & After」が設けられており学びの深まりや自分の成長を実感できるよう、よく工夫されている。 □他教科とのかかわりについては「〇〇で学ぶこと」として、他教科で学ぶ内容が35箇所位置付けられている。また、「学びを生活や社会に広げよう」として、理科の授業で学んだことを日常生活につなげるコラムが72箇所位置付けられており、系統的にも発展的にも学習できるように、よく配慮されている。

音楽	一般	教育芸術社	□表現、鑑賞、創作の各分野を関連させ、幅広い音楽活動が展開できるよう各学年相互間の関連及び系統性、発展性によく配慮して構成、配列がなされている。 □「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に関して、ICTの活用も含め生徒一人一人の多様な学びに対応できるよう、よく配慮されている。 □生徒の学習改善や教職員の指導改善に関して、学びの支援となる記述、ワークシート、学びの手順等から、生徒が学びの深まりを実感できたり教職員が指導改善につなげられたりするよう、よく配慮されている。
	器楽	教育芸術社	□表現、鑑賞、創作の各分野と器楽の学習を関連させ、幅広く、また深い学習が展開できるよう系統性、発展性によく配慮して構成・配列がなされている。 □「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に関して、基本的な奏法の写真や説明が多数掲載されており、ICTの活用も含め生徒一人一人の多様な学びに対応できるよう、よく配慮されている。 □生徒の学習改善や教職員の指導改善に関して、学びの支援となる記述、ワークシート、学びの手順等から、生徒が学びの深まりを実感できたり教職員が指導改善につなげられたりするよう、よく配慮されている。
美術	美術	日本文教出版	□美術1では身近なものを対象とした題材、美術2・3上では多様な表現に触れ、気付きや学びを実感する題材、美術2・3下では自分自身を見つめ新たな価値を創造する題材が多く設定され、各学年の発達段階や題材の系統性、発展性によく配慮された題材構成となっている。 □全題材で「鑑賞の入り口」と「造形的な視点」が設定され、生徒が問いや願いをもとに主体的に活動に取り組み、「造形的な見方・考え方」をもとに対話的な活動が行われるようよく工夫されている。また、生徒の発想・構想、表現の手がかりとなる掲載作品の「作者の言葉」が多く掲載され、生徒自身が粘り強く活動し、学びを深めることができるように、よく工夫されている。 □二次元コードが、題材ごとの主文の最後や「表現のヒント」、掲載作品、鑑賞ページ、巻末の「学びを支える資料」などに多く位置づけられ、学習活動に応じて生徒が活用できるように、よく工夫されている。
保健体育	保健体育	東京書籍	□各章の導入時において、身近な方々の職業観を踏まえたコメントを掲載し、保健体育で学ぶことに対してより親近感が持てるような工夫がある。 □学習内容を使ってより深く考えるための「活用する」だけでなく、さらに自身の生活や経験とつなぐ「広げる」が位置づけられ、発展的な内容について一人一人の習熟度や興味関心によって幅を持たせた定着を図ることができる。 □個人の問題解決的な学習ができ、話し合い活動がより活発にできるよう工夫がされている。 ・「ストレスの対処の方法」の単元では、「ストレス対処の方法」のように実践例が多く紹介され、体験的な学びがよりよくできる工夫がされている。 □今日的な課題に対する内容の充実については、実例が多く示されており、具体的にイメージしやすいようになっている。 ・「性の多様性」では、自分らしさを大切にし、互いに認め合うことができるような資料やイラストがわかりやすく掲載されている。 ・「薬物乱用防止」では、薬物乱用者による犯罪や事故についての実例が示されており、薬物乱用の恐ろしさを具体的にイメージできるようになっている。 □主となる本文の文字はユニバーサルデザインフォントを使用しており、非常に見やすい。また、すべての生徒の色覚特性に適応するようにデザインされている。

技術・家庭	技術	東京書籍	□ A～D のすべての領域において、実践的・体験的な活動に取り組みながら、資質・能力をバランスよく育成できるように、よく工夫された構成になっている。 □ QR コードで「情報モラルチェック」を用意して、情報モラルについてセルフチェックができる。また、各編の資料に、他教科との学習の関連を示して、教科等横断的な学習を図ることができるようによく配慮されている。教科内の関連をマークで示し、学び方の関連が図れるようによく工夫されている。 □ 見開きやガイダンスページ、各章末の「技術の匠」のコーナーなどで、現在の技術に関わる状況、問題点、解決に向かう工夫について具体的な技術者の話をもとに紹介し、個別に様々な視点で取り組めるよう、よく配慮されている。また、各内容の初めの「レッツスタート」や問題解決例では3コマ漫画等で、議論する視点や方法が示され、協働的な学びの具体が分かるよう、よく工夫されている。 □ 自分で学習が可能な内容として、「考えてみよう」「調べてみよう」「やってみよう」のコーナーが69箇所、学習評価のための「学習のまとめ」が62箇所、単位時間や内容ごとに示され、自ら学習に取り組み、理解度を高めるようによく工夫されている。 □ 情報の技術に関する実習例について、双方向性コンテンツが5つ、計測・制御が6つ、ICTを活用した学習活動が3つ取り上げられ、よく配慮されている。また、QRコードの掲載数が、A31、B23、C31、D33、その他16、合計134と効果的に学習が進められるよう、分量について、よく配慮されている。
	家庭	東京書籍	□ 「自らの生活を作る」「消費者としての意思決定する」「ともに生きる」の流れで構成されており、生徒の思考の流れに沿うようによく配慮された構成になっている。 □ 消費者トラブルについて、イラストや文章で数多く例示してある。また、近年中高生の間で増加している、オンラインゲームに関するトラブルの例示があり、生徒が主体的に考えられるようによく工夫されている。 □ 衣服の手入れでは、基礎技能が写真や図で確かめられるようにしてあり、中学校での衣服の補修につながるようよく配慮されている。また、ポイント、失敗例が例示されており、技能の確実な習得に、よく配慮されている。 □ 「考えてみよう」「やってみよう」「話し合ってみよう」などの主体的・対話的な活動が位置づいている。イラストで具体的に考えられるようになっており、深い学びにつながるよう、よく工夫されている。 □ 主菜に合った副菜、汁物やその調理手順も示され、献立を考えたり、家庭で調理をしたり、実践ができるように、よく工夫された内容になっている。また、3品同時に調理する手順例も示してあり、効率よく調理が行えるようよく工夫されている。 □ 簡単に栄養のバランスを考えながら献立をたてることができるシミュレーションや身近に居ない乳児や幼児の動画など、たくさんのQRコンテンツがあり、生徒が主体的に考えられるよう、よく工夫されている。

外国語	英語	東京書籍	□生徒の知識・技能、思考力・判断力・表現力を高められるよう、どの学年においても4技能5領域に関わる言語活動がバランスよく配置されている。各単元において、パートごとに本文を利用して行う言語活動「Activity」をスモールステップで積み重ね、ゴールの活動でそれまで用いた表現を活用することができる仕組みになっており、確かな英語力を育むことが期待できる。 □1年生のUnit0からUnit4までを小学校の復習単元とし、小中接続期の夏休みまでを余裕をもって学習できるよう、中学校英語への負担を軽減させる配慮がある。小学校で学んだ「聞く」「話す」活動から授業に入り、「聞く」「話す」「読む」「書く」活動を同じ表現を用いて繰り返すことで定着を促す工夫がされている。すべての学年で社会的な題材を扱っており、3年生では国際協力や人権平和から自国の文化や防災といった様々な題材を通して、英語を使って幅広い視点で物事をとらえ、考えることのできる設定がされている。単元末には、学習した内容と自国の文化や自分のことをつなげて、英語で発信する力を育成することができる。 □文法の解説ページGrammar for Communication、楽しみながら語順を学べる語順カード、各単元の「Unit Activity」を行う際の参考となる単語や表現をまとめた巻末の「Unit Activity Plus」、QRコンテンツにある用例辞典は、生徒が授業や家庭学習において学習状況に応じて自由に活用できるようよく工夫されている。各単元の「Activity」「Unit Activity」等、ペアで伝え合ったり読み合ったりする活動や、小集団で考えや表現を共有し再構築する協働的な活動が位置づいていること、生徒が自分事として取り組めるような「目的・場面・状況」が明確に設定されていることにより、生徒の主体的・対話的で深い学びを推進することができる。
道徳	道徳	学研	□「考え、議論する道徳」を実現するために、「考えよう」に様々な立場の感じ方や考え方を捉えて話し合ったり、本時の内容項目について自己の生き方を見つめたりできる問いを多く設ける等、内容や構成がよく工夫されている。 □「情報モラル、いじめ、生命の尊さ」といった現代的な課題について「クローズアップ」を活用して生徒が問題意識をもって多面的・多角的に考えられるようにする等、教材の内容、構成、学習の進め方がよく工夫されている。